

イネ科 メヒシバ属

メヒシバ (雌日芝)

Digitaria ciliaris (Retz.) Koeler

自生環境

野原、道ばた、畑地 など

原産地

日本在来

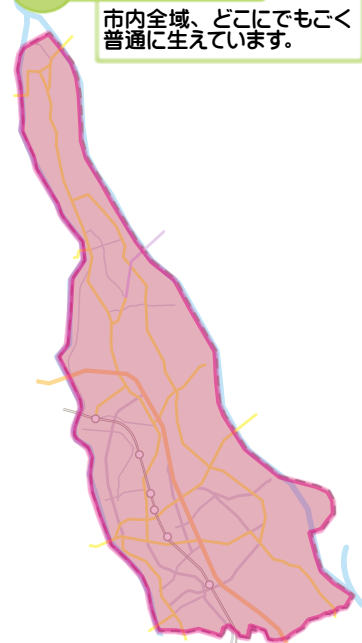
生育を脅かす要因



身近な場所にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、どこにでもごく普通に生えています。



特徴

- ☆ 道ばたや野原、畑地など、いたるところにごく普通に生えています。オヒシバと比べるとやや湿った草むらの環境を好みますが、乾燥や日照りにもよく耐えます。
- ☆ 葉は薄くてやわらかく、穂も細くて全体的に繊細な感じがします。ただ、繊細なすがたとは裏腹に繁殖力はとても強く、わずかに残ったちぎれ枝からも容易に復活できる能力を持っています。そのため雑草として嫌われる傾向がありますが、バッタの仲間など多くの草食昆虫の命を支えています。
- ☆ 小穂（穂を構成するツツツの部分）や茎に生える毛の量は個体差があります。小穂の毛が目立つものはクシゲメヒシバと呼ばれることもあります。

草むしりに負けない

メヒシバは茎がやわらかく、地面につくと、節から発根し、地に茎を固定します。これを何度も繰り返しながらのび、まるで紙テープを画鋏で何か所か留めたような感じになります。画鋏を取らずに紙テープをひっぱるとちぎれてしまうように、メヒシバを引っ張っても、発根した根と茎の一部が地面に残り、そこからすみやかに再生します。このようにして草むしりから身を守っているのです。



全体的に細くて弱々しい感じ



小穂は細長くて両端がとがったレンズのような形



小穂に毛が目立つ株もある



茎の節から根が出る



葉はうすくてやわらかい



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

